

ばんけい

教育ほつとにゅーす

かわら版

こ みち
教育の小径

No.58

8月号

2013 August

今月のことば

かい
隗より始めよ

何事もまずは言い出した本人から始めなさいということ。大事業などをまず身近なところから始めよという意味でも使われます。隗は人名です。



国士館大学教授
北 俊夫先生

教員のメンタルヘルス問題

- 精神疾患による教員の休職者が増加しています。その要因には仕事の多忙化、教員間の人間関係、保護者への対応などさまざまなものがあります。
- ストレスを感じない、精神疾患を引き起こさない職場環境をつくるなど、予防的な取り組みが最大のメンタルヘルス対策です。

今月の記念日

野菜の日(8月31日)

野菜のもっている栄養をもっと認識してほしいとの願いから、全国青果物商業協同組合連合会などが1983年(昭和58年)に制定しました。「831」は「やさい」の語呂合わせです。

深刻な教員の精神疾患

学校での教育活動は、教師と子どもたちとの人格的な触れ合いを通じて行われる、極めて人間的な営みです。そのため、教師自身が心身ともに健康であることが不可欠です。

教員の精神疾患による休職者数は依然として高い水準にあり、文部科学省からの報告書『教職員のメンタルヘルス対策について』(平成25年3月)によると、平成23年度には約5300人、最近の10年間で約2倍に増加しています。年代別の割合を見ると、教職の経験を積んできた40歳代と50歳代以上の割合が高くなっています。年代が高いほど強いストレスを抱えるためと考えられています。精神疾患を再発する教員は再発をくり返すほど、短期間に再発する可能性が高くなるとも言われています。教員のメンタルヘルス問題は深刻な状況にあると言えます。

精神疾患やストレスを引き起こす要因には、職場環境の急変が挙げられます。例えば、事務の増加などによる仕事の多忙化、変化する子どもの教育指導上の悩み、教育観の違いによる職場での人間関係やその希薄化、問題行動への指導の困難さ、保護者からのクレームへの対応などが誘因していると指摘されています。

これらが複合的に影響している場合もあります。

新採教員は経験が少なく、先が見えないことから、また初めて人事異動を経験した教員は前任校との違いなどから毎日の生活で強いストレスを感じ、精神的な不調に陥りやすいようです。

人間と人間との関係の中で営まれている学校は、だれにとってもストレスのたまりやすい職場だと言えます。メンタルヘルスの問題は決して他人事ではありません。いつだれに襲いかかるかわからない問題なのです。

予防こそ最大の対策

メンタルヘルス対策には、予防的な取り組みと、治療的な取り組みがあります。予防のためにはまず本人の「セルフケア」が重要です。常に安定した気持ちで仕事ができるように、メンタルヘルスの自己管理に努めます。例えば、自分のストレスに気づくこと、ストレスに対処する知識や方法を身につけること、異常を感じたら早めに精神科医など専門家の診療を受けることです。家族や同僚、医師など気軽に相談できる人がいるとよいでしょう。

次は、周囲の人が温かく見守ることです。管理職は、職場に相談しやすい雰囲気をつくります。ストレスを感じてい

る教員には、すぐに適切なサポート体制をとり、一人で抱え込まないようにします。管理職や同僚の教員には、一人一人の教員に対する鋭敏な観察力と温かい包容力が求められます。排他的に接したり孤立させたりすることは禁物です。みんなで支え合い、包み込んでいく温かい職場環境をつくるのが最大の予防策になります。

校務分掌において一人一人が役割をもつことは大切ですが、その人に責任を押しつける仕組みではなく、学校や各分掌の組織として業務に対応します。ややもすると学校という社会には、他の学級や組織に口を挟まないという風潮がありますが、職務の遂行に「ライン」で対応がなされるように、メンタルヘルスにおいても「ラインによるケア」が求められています。

ストレスを感じたり精神疾患を発症させたりしないためには、予防的な取り組みこそが、最大のメンタルヘルス対策であると言えます。

精神疾患で所属校に復職した人の内、約半数が2年未満で再び休職しています。復職のためのプログラムをどう作成し、本人の状況を見ながらどう実施していくかなど、完全な回復のためには、復職後の受け入れや経過の観察など職場での適切なフォローアップが欠かせません。

両親が共働きの子ども

Q. 両親が共に働いている子どもが増えています。病気になったときなど、緊急の場合にはどちらかの職場に連絡するようになっていきます。そのほかに、担任として配慮することはどのようなことでしょうか。

A. 両親が働いている場合、やはり放課後や帰宅後のことが心配です。子どもが帰宅する前に両親のどちらかが仕事を終えている場合や、祖父母が同居している場合などには特に問題はありませぬ。しかし、下校したとき家庭にだれもいない場合には、学校や担任としても配慮が必要です。

地域によっては、同じ校地内や校舎内に下学年（1～3年）の子どもを預かる施設（学童ホームなど）を設けているところがあります。この場合にはそこに移動して、遊んだり勉強をして過ごすこともできます。指導者もついていますから安心です。しかし冬の期間などは帰宅するときに薄暗くなっています。雨の日もありますから気をつけて帰宅するように子どもに指導します。

そうした施設は、上学年になると利用できなくなりますので、子どもは帰宅すると自分でカギを開けて家に入ることになります。両親も話していることと思いますが、家庭では火を使わない、見知らぬ人を家に入れないなど、火災や防犯には特に注意するよう指導します。

両親が共に働いている子どもは、自分のことをしっかりやるなど自立しているところがあります。反面、ともすると寂しがり屋のところもあります。家庭とは電話などでできるだけ連絡を取り合い、担任から努めて励ましの言葉をかけるようにします。

教育の動向

犯罪行為としてのいじめ

いじめの中には、犯罪行為として取り扱われるべき深刻な事案も含まれています。文部科学省は平成25年5月16日付の通知で、これらのいじめの対応に当たっては、早期に警察へ相談・通報し、警察と連携した対応が必要であるとしています。

通知には、13事例が紹介されています。次はそれらの一部です。

- ・同級生の腹を繰り返し殴ったり蹴ったりする。プロレスと称して同級生を押さえつけたり投げたりする。（暴行）
- ・顔を殴打しあごの骨を折るケ

- ガを負わせる。（傷害）
 - ・断れば危害を加えると脅し、汚物を口にさせさせる。（強要）
 - ・断れば危害を加えると脅し、現金等を巻き上げる。（恐喝）
 - ・教科書等の所持品を盗む。（窃盗）
 - ・自転車を故意に破損させる。（器物損壊等）
 - ・学校に来たら危害を加えると脅す、あるいは、脅すメールを送る。（脅迫）
 - ・特定の人物を誹謗中傷するため、インターネット上のサイトに実名を挙げて「万引きをしていた」、気持ち悪い、うざい、などと悪口を書く。（名誉毀損、侮辱）
- 各学校には、本通知を活用した研修を実施することが求められています。



北先生の授業力向上術

問題解決的な学習⑩
まとめる（整理する）

学習問題を解決するためには、単に実験する、資料で調べるといった活動で終了するのではなく、これまでの学習をまとめる必要があります。

ややもすると調べっぱなしであったり、実験や観察をして終わりにしてしまったりしている授業に出会うこともあります。問題解決的な学習では「調べる」ことがゴールでないことは言うまでもありません。

「まとめる」という終末における学習活動は、単元（小単元）や本時の目標やねらいの確実な定着にかかわる重要な意味をもっています。単元のまとめる場面では単元の目標と、本時の終末でのまとめる活動は、本時の目標（ねらい）と、それぞれ一体に展開されるからです。単元や本時のまとめる活動

は、教師にとって子どもの学習成果を評価する重要な場面だと言えます。

問題解決的な学習における「まとめる」という活動には、少なくとも3つのステップがあります。今月号から順に解説していきます。

第1のステップは、調べてわかったことなどを「整理する」ことです。例えば、文章のほか、新聞、図表、関係図にまとめるなどさまざまな表現物を作成する活動が挙げられます。ここでは、情報を整理する能力とともに表現する能力を育てることができます。また、学習問題や予想したこと、調べたことなどこれまでの学習をふり返る機会にもなります。ふり返ることは自己評価することでもあると言えます。

第1ステップは、これまでの調べ学習で習得した知識などを改めて整理・統合することだと言えます。

INFORMATION

なぜ子どもに社会科を学ばせるのか



◎著者 北 俊夫
◎定価 998円（税込）
◎発行 株式会社文溪堂

A5判 104ページ

言語活動は授業をどう変えるか



◎著者 北 俊夫
◎定価 998円（税込）
◎発行 株式会社文溪堂

A5判 112ページ

編集後記

暑さで食欲が減退しがちな時期です。旬の野菜や果物には、その季節に応じて体に働きかけてくれる作用があります。夏野菜には体を冷やす効果が見込めます。今号のテーマ、ここからだのバランスを保つためにも旬の野菜は欠かせません。（T記）

企画・編集：ぶんげい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2013年8月1日